

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2392000440		
法人名	メディカル・ケア・サービス東海株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム豊橋牛川薬師町(ひだまりユニット)		
所在地	愛知県豊橋市牛川薬師町8番4		
自己評価作成日	平成30年10月12日	評価結果市町村受理日	平成31年1月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kazokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=2392000440-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋市長瀬区本願寺町2丁目74番地		
訪問調査日	平成30年10月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設から1年半が過ぎ、地域の方々に、少しずつ認識されてきています。運営推進会議や地域のお祭りに顔をださせてもらったり、今年初めて畑で野菜を入居者の皆様と作りました。買い物、ドライブ、地域の行事に参加したり、個別でのお出かけ、外食など入居者様に楽しんでいけるように支援しています。10/27は地域の方やご家族様をお招きし、秋祭りを開催します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の第1回秋祭りは、フランクフルト100本、フライドポテト5^{kg}、焼きそば24人前、おでん大鍋2つ、たい焼き60尾を用意したものの、30分も経たないうちに消費しまう嬉しい1日となりました。近くにある障害者施設とは開設以来懇意な付き合いとなり、就労支援を利用する皆さんが勤務先の農園で収穫した野菜を届けて下さったり、やはり勤務先である喫茶店には当事業所の利用者が訪ねモーニングを堪能しています。また10月の停電では「うちはガスは大丈夫だから。よかったら調理は～」と声をかけてもらえ、来月には両事業所と消防署、自治会長とで土砂崩れへの対策を話し合うことになっていて共生が日毎に高まっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「地域の人々とのふれあいを大切にします」との文言が運営理念に掲げてあり、スタッフ一同が地域の中でホーム会議や行事等で実践しています。	朝礼、夕礼で理念を唱和しています。散歩では利用者と共に「愛の家で一。遊びに来て下さいねえ」と声をかけ、畑の耕作をしていると「こうするといよいよ」と地域から助言が入り、公園の施設管理者にも「手伝いますよ」と気軽に接し、利用者との外活動が日常に溶け込んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会や町内会の行事には参加させていただいています。年内は近隣事業所と防災訓練にも参加していきます。ホーム行事には回覧板を活用させて頂いております。	中学校の職業体験・福祉体験は各校4名として上限を定めていますが、5月あたりから毎月述べ10校近くを受け入れるほか、大学生の単位履修における生活介護ボランティアもあります。利用者も生徒のためにデザートを作るなどして心待ちにしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で民生委員や地域の皆様に認知症介護の実情を伝え、ご質問等あれば説明させて頂いております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会や近隣事業所の方に行事等紹介して頂き、交流の機会を得ることができています。	自治会長と副会長、民生委員、地域包括支援センター職員が顔を揃えて、隔月開催が叶っています。家族は年間で数名程度の出席ですが、近くの福祉施設や同法人の他事業所からも参加があり、また地域包括支援センターから介護や地域情報の助言を受けつつ運営されています。	運営推進会議の開催日程を年間で作成して、家族や障害者施設の施設長へも年間を視野に入れた出席をお願いしていくことを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所(広域連合)の方とは日頃から連絡を取らせて頂いており、事業所の実情はお話ししております。	本年4月から東三河広域連合が保険者となり、手段がこれまでとは替わっています。例えば「郵送してください」「窓口に届けてください」と、書類の届け方も指定があり、事業所では初めてのことで戸惑いのあるものの何とか諸所間に合うよう努めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修、チェックシート等定期的に行い、研修による知識の蓄積を基礎に実践として拘束ゼロに取り組んでいます。	職員が利用者に関わる言葉には温かみがあり、スピーチロックの心配は感じられません。新採研修、『虐待・不適切なケア』『身体拘束』両チェックシート、全体会議での研修と、学びと振り返りを重ねてきましたが、本年の法改正で『身体拘束委員会』の会議開催にも取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての研修、チェックシート・注意喚起を定期的に行っています。現場にて各ユニットリーダーがスタッフ個々のチェックをしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ホーム会議で研修はしていますが活用の機会は現在ありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書や改定の内容など、必ず管理者が時間をかけ読み合わせをしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先に意見箱を置き、来客者の意見等をいつでも記入して頂けるようにしています。ご家族様アンケート・運営推進会議の意見や要望をフィードアップし改善、改良を行なっています。	以前課題としてた散歩をはじめとする日常的な外出支援については面会時に努めて伝達し、ひだまり・ぬくもり新聞にも写真とともに掲載報告することで、家族から「ありがとう」「よくやってくれているよね」と好評価の言葉に結ばれています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会社にて、スタッフアンケートが行われており、その結果は管理者に知らされ改善策の提起をもとめられています。	管理者が気づいて何かおこなうと、「あっ、すみません、、」とすぐ代わってくれたり、散歩にできれば最後の人まで粘り強く連れ出してくれる職員集団です。特段大きな提言はありませんが、「どのようにしたら帰宅願望に添えるか…」といった利用者本人のことはじっくり話し合っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパスや段位制度等が毎年充実させています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社のブログ等で研修を通じて配信や書面による資料が定期的に配られています。また、資格制度も毎年充実させております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東三河広域連合のGH連絡協議会に参加させて頂いております。9月RUN伴に参加しました。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の本人面接ではアセスメントをとりケアプランに反映しています。入居後はスタッフ1人1人が顔見知りになれるように関わりを持つようにスタッフに伝えています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居初期は家族様とこまめに連絡を取ったり、来訪時には施設での生活の様子をお伝えしながらご家族様の要望を教えています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設内での必要な支援の見極めは行っていますが他のサービスを利用して頂いた事はありません。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	施設内では家事や洗濯、中庭や畑の草取り等入居者様と一緒にこなしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会は多い方ですが遠い方ではなかなか来られない方もいらっしゃいます。受診も必要であればご家族の協力をお願いすることもあります。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人等来訪して下さった際は、再度安心して来て頂けるように声掛けさせてもらっています。	珈琲が大好きな人は喫茶店へ行くという意味が明確で、職員と出かけています。また目の川を見て懐かさが湧き、近くにある神社のことを思い出して尋ねるといった回想からの支援例もあります。毎日面会というお嫁さんは「好きなものを食べさせてあげたい」とおまんじゅう持参です。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	家事、洗濯等役割を決めて協力し合う入居者様もいますが、居室で過ごされ参加されない方もいらっしゃいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も様子を伺いに電話連絡したり、訪問したりしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員本位でないケアを行なえるよう、ホーム会議、ユニット会議で話し合っています。	当初はドラックロックの知識も薄い職員がいましたが、繰り返しの指導、示唆を以て、現在では「飲ませたらふらついて危ないよね」という発言が自然に出てくるようになっていて、職員の育ちとともに利用者の生活環境に会話やふれあいが増えています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式の提供やご家族様に聞き取りを行い把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自身で行えることは行って頂きしえんしています。スタッフは、記録に残し申し送っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様の現状の把握と状態を家族さまと共有し気を配り、スタッフ、主治医の意見も確認しています。	職員は居室担当者として『サービス担当者会議資料』を作成することで計画作成に加わっています。計画作成担当者は各々から集まった資料を集約して介護支援計画書を作成して、介護支援専門員が最終チェックをおこなっています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、日報、申し送りノートなどでユニット職員は情報を共有し、会議で話し合い介護計画しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	サービス計画は基本行動の指針であり日々変わるご本人様や家族の要望によりサービスの提供をしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ホーム近隣の東田神明宮に散歩いくことで幼いころを思い出したり、自身の生まれ育った地域の良さを感じて頂いています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本は往診にて対応させて頂いているが希望者は他の病院にご家族様にて受診に行かれてもいらっしゃる方がいます。	家族が「受診支援をしたい」という1名を除く17名が協力医に変更しています。月2回の訪問診療ではバイタル計測から血液検査まで丁寧におこなわれ、17名全員の診察が半日かかりです。薬剤師が薬情を残すとともに、管理者は『往診申し送り表』へ落とし込み共有しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションの看護師と連携を取り、随時相談できる環境ができています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	市内の病院に定期的に訪問をしたり電話にて良好な関係を築いております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化やその後の方向性については十分に説明させて頂いております。他施設や病院と連携をとっています。	急変で救急搬送を経て亡くなった例はありますが、開設から2年ということもあって看取りは未だ実績がありません。見学時から本件について話を始め、契約時には書面を確認しつつ説明しており、今後のことについては状態変化に応じて都度話し合い合意形成することになっています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故対応の研修は定期的に行っています。市の消防署の指導はまだ受けたことがありません。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害については運営推進会議の議題にも上がっています。年末に近隣施設や自治会の方、消防の方と非難について話し合うことになっています。	防災と地震で年2回の法定訓練を実施しています。近くの障害者施設とは防災について協議を重ねており、さ来月には両事業所、自治会長と消防署職員とで会合を持ち、主に土砂崩れへの対策を話し合うことになっています。	目前に河川があることもあって、風水害想定も今後はおこなうことを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの研修も定期的に行われています。虐待チェックシート等でプライバシーを無視した介護が行われていないか見直しを行っています。管理者、ユニットリーダーにより指導しています。	帰宅願望の利用者には、「今日はお休みの日だから、いろいろやるのがあって大変なんだよ」と家族の事情をやんわりと話したり、本人の食が進まないことからお茶の代わりにカルピスを用意するとともに膳を長く残し、少しずつでも口に運んでもらえるようにとの配慮を視認しました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の希望を尊重しています。何を希望されているのか傾聴し共有しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様がフロア・居室それぞれで自由に過ごして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髭剃り、爪切り、整容等本人様の希望に沿って支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	白米かパン、お茶かジュース、自由に選択できるように好みに合わせて提供しています。お手伝いは能力に合わせて行われています。	畑ではピーマン、茄子、胡瓜、トマト、ラディッシュ等々が実り、酢の物や煮物となって食卓に並んでいます。中華料理店勤務の経験もあり、味付けや盛り付けにキラリと光るものが見られる調理師が食事の用意を担当しており、利用者にも「美味しい」と人気です。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人様の希望を最優先しています。バイタル表を活用し個々に対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人様の習慣や状態を見ながら出来る支援を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレへの定期誘導、本人様の行動やしぐさを見逃さないようにしています。	「トイレで」を目指して排泄チェック表をつけています。「私たちが行きたい頃には必ず行きたいはず」との考えを以て食前後の定期誘導をおこない、また腿をもぞもぞさすったり、立ち上がったりのしぐさで対応することもあり、パッドの使用量も大きく減って家族にも飲ばれています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便間隔を把握し食量・水分量にきを配り必要な方には服薬管理を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人様の希望や状況で入浴日が早まることがあります。午前浴・午後浴・夕方など本人様に合わせています。	3日に1度を目安に入浴できるように、週5日湯を張っています。以前は午後入浴でしたが、帰宅願望の症状がある利用者が増えたため、夕方症候群に対応できるようにと午前に入浴という日もあります。医師から乾燥対策の指導があり、ミルクやゆずの浴剤で保湿に気遣っています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	基本は本人様の意思を尊重し休みたいときには休息できるような支援を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員がすぐ確認できるようにフロア内に処方箋ファイルを置いています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事活動に役割があり、協同して行って頂けるよう支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出の回数は多く、買い物・ドライブ・外食等で気分転換を図っていただいています。	地域のふれあいサロンへの立ち寄りを含み、散歩は頻回にあります。ユニット外食と名付けた企画は『毎月1回を目標』としていますが、都合で出かけることができない場合でも鉄板を中心とした食事レクリエーションが催され、ヘラで器用にお好み焼きを返す利用者の姿もあります。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ドライブや外出時出来る方にはお支払いをして頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話をお持ちの方もいらっしゃいますが、ご家族様からの電話は本人様に取り次ぎお話されています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掲示物や「写真などで季節感を出しています。外の自然の空気を入れるように心がけています。	十月のお月見のクラフト作品は綿を丸めて団子に見立てたり、カレンダーや職員紹介も手作りです、一つひとつに職員の想いが感じられ、味わいがあります。また自然の景色の絵画や本人の写真を大きく引き伸ばしたプリントも貼り出され、回想にも役立っていることが覗えます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアでの座席は、相性などに配慮しています。テレビやソファの配置にも気を配ります。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具等ご自宅で本人様が使用していたものを持ち込んで頂いています。	管理者が入居の折に「今まで使っていたものを是非～」と随時伝えていて、その人らしさが際立つ個性的な居室が在ります。「座るのが好き」な人の居室には畳が持ち込まれ、仲良し3人組でおやつを食べながら何やら楽しげに過ごす場として昇華しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	間違えないように居室札やトイレの張り紙をしています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2392000440		
法人名	メディカル・ケア・サービス東海株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム豊橋牛川薬師町 (ぬくもりユニット)		
所在地	愛知県豊橋市牛川薬師町8番4		
自己評価作成日	平成30年10月12日	評価結果市町村受理日	平成31年1月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=2392000440-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋市長瀬区本願寺町2丁目74番地		
訪問調査日	平成30年10月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設から1年半が過ぎ、地域の方々に、少しずつ認識されてきています。運営推進鍵や地域のお祭りに顔をださせてもらったり、今年初めて畑で野菜を入居者の皆様と作りました。買い物、ドライブ、地域の行事に参加したり、個別でのお出かけ、外食など入居者様に楽しんでいただけるように支援しています。10/27は地域の方やご家族様をお招きし、秋祭りを開催します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の第1回秋祭りは、フランクフルト100本、フライドポテト5^{kg}、焼きそば24人前、おでん大鍋2つ、たい焼き60尾を用意したものの、30分も経たないうちに消費しまう嬉しい1日となりました。近くにある障害者施設とは開設以来懇意な付き合いとなり、就労支援を利用する皆さんが勤務先の農園で収穫した野菜を届けて下さったり、やはり勤務先である喫茶店には当事業所の利用者が訪ねモーニングを堪能しています。また10月の停電では「うちはガスは大丈夫だから。よかったら調理は～」と声をかけてもらえ、来月には両事業所と消防署、自治会長とで土砂崩れへの対策を話し合うことになっていて共生が日毎に高まっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「地域の人々とのふれあいを大切にします」との文言が運営理念に掲げてあり、スタッフ一同が地域の中でホーム会議や行事等で実践しています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会や町内会の行事には参加させていただいています。年内は近隣事業所と防災訓練にも参加していきます。ホーム行事には回覧板を活用させて頂いております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で民生委員や地域の皆様に認知症介護の実情を伝え、ご質問等あれば説明させて頂いております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会や近隣事業所の方に行事等紹介して頂き、交流の機会を得ることができています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所(広域連合)の方とは日頃から連絡を取らせて頂いており、事業所の実情はお話しております。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修、チェックシート等定期的に行い、研修による知識の蓄積を基礎に実践として拘束ゼロに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての研修、チェックシート・注意喚起を定期的に行っています。現場にて各ユニットリーダーがスタッフ個々のチェックをしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ホーム会議で研修はしていますが活用の機会は現在ありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書や改定の内容など、必ず管理者が時間をかけ読み合わせをしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先に意見箱を置き、来客者の意見等をいつでも記入して頂けるようにしています。ご家族様アンケート・運営委推進会議の意見や要望をフィードアップし改善、改良を行なっています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会社にて、スタッフアンケートが行われており、その結果は管理者に知らされ改善策の定期をもとめられています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパスや段位制度等が毎年充実させています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社のブログ等で研修を通じて配信や書面による資料が定期的に配られています。また、資格制度も毎年充実させております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東三河広域連合のGH連絡協議会に参加させて頂いております。9月RUN伴に参加しました。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の本人面接ではアセスメントをとりケアプランに反映しています。入居後はスタッフ1人1人が顔見知りになれるように関わりを持つようにスタッフに伝えています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居初期は家族様とこまめに連絡を取ったり、来訪時には施設での生活の様子をお伝えしながらご家族様の要望を教えています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設内での必要な支援の見極めは行っていますが他のサービスを利用して頂いた事はありません。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	施設内では家事や洗濯、中庭や畑の草取り等入居者様と一緒にこなしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会は多い方ですが遠い方でなかなか来られない方もいらっしゃいます。受診も必要であればご家族の協力をお願いすることもあります。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人等来訪して下さった際は、再度安心して来て頂けるように声掛けさせてもらっています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	家事、洗濯等役割を決めて協力し合う入居者様もいますが、居室で過ごされ参加されない方もいらっしゃいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も様子を伺いに電話連絡したり、訪問したりしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員本位でないケアを行なえるよう、ホーム会議、ユニット会議で話し合っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式の提供やご家族様に聞き取りを行い把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自身で行えることは行って頂きしえんしています。スタッフは、記録に残し申し送っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様の現状の把握と状態を家族さまと共有し気を配り、スタッフ、主治医の意見も確認しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、日報、申し送りノートなどでユニット職員は情報を共有し、会議で話し合い介護計画しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	サービス計画は基本行動の指針であり日々変わるご本人様や家族の要望によりサービスの提供をしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ホーム近隣の東田神明宮に散歩いくことで幼いころを思い出したり、自身の生まれ育った地域の良さを感じて頂いています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本は往診にて対応させて頂いているが希望者は他の病院にご家族様にて受診に行かれている方もいらっしゃいます。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションの看護師と連携を取り、随時相談できる環境ができています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	市内の病院に定期的に訪問をしたり電話にて良好な関係を築いております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化やその後の方向性については十分に説明させております。他施設や病院と連携をとっています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故対応の研修は定期的に行っています。市の消防署の指導はまだ受けたことがありません。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害については運営推進会議の議題にも上がっています。年末に近隣施設や自治会の方、消防の方と非難について話し合うこととなっています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの研修も定期的に行われています。虐待チェックシート等でプライバシーを無視した介護が行われていないか見直しを行っています。管理者、ユニットリーダーにより指導しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の希望を尊重しています。何を希望されているのか傾聴し共有しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様がフロア・居室それぞれで自由に過ごして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髭剃り、爪切り、整容等本人様の希望に沿って支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	白米かパン、お茶かジュース、自由に選択できるよう好みに合わせて提供しています。お手伝いは能力に合わせて行われている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人様の希望を最優先しています。バイタル表を活用し個々に対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人様の習慣や状態を見ながら出来る支援を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレへの定期誘導、本人様の行動やしぐさを見逃さないようにしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便間隔を把握し食量・水分量にきを配り必要な方には服薬管理を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人様の希望や状況で入浴日が早まる場合があります。午前浴・午後浴・夕方など本人様に合わせています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	基本は本人様の意思を尊重し休みたいときには休息できるような支援を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員がすぐ確認できるようにフロア内に処方箋ファイルを置いています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事活動に役割があり、協同して行って頂けるよう支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出の回数は多く、買い物・ドライブ・外食等で気分転換を図っていただいています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ドライブや外出時出来る方にはお支払いをして頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話をお持ちの方もいらっしゃいますが、ご家族様からの電話は本人様に取り次ぎお話されています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掲示物や「写真などで季節感を出しています。外の自然の空気を入れるように心がけています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアでの座席は、相性などに配慮しています。テレビやソファの配置にも気を配ります。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具等ご自宅で本人様が使用していたものを持ち込んで頂いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	間違えないように居室札やトイレの張り紙をしています。		